

前代未聞の町民体育祭

～つなごうよ 次の世代へ 心のバトン～



平成19年10月14日(日)、南光保育園の園児による太鼓演奏で幕をあけた「第55回町民体育祭」は、前代未聞の結果を迎えた。

7分館による優勝旗を勝ち取るための熱戦は、5連覇が懸かる菱田分館が序盤から頭一つ抜け出しリード。それを持留・大崎分館などが追う展開。まさに手に汗握る、白熱した戦いが繰り広げられた。

競技は、保育園・幼稚園児による「園対抗リレー」、菱田中学校の男子生徒による「菱田中魂(組体操)」、一般男女の「やったぜ!ホールインワン」、「なわとびレース」、分館代表による「分館対抗混合リレー」など、全26種目。

笑いあり、涙ありの素晴らしい町民体育祭は最後の最後まで目が離せない展開。最終種目「分館対抗混合リレー」が終わり閉会式。

審判委員長の結果発表の後、会場からは、どよめきが沸いた。なんと、町民体育祭始まって以来の大崎・菱田・持留の3分館同点優勝だった。

こうして、「スポーツの秋」を象徴するような町民体育祭は幕を閉じた。



▲炬火ランナー下井倉啓介君



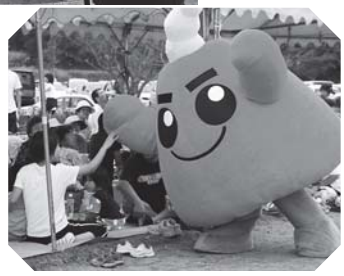
▲大会スローガン表彰



▲どうだい!この高さ!



▲選手宣誓をする福永彬君



▲高校生クラブのボランティア



▲バトンパス!うまくできるかな?



▲内心ドキドキ(?)の選手たち